

【事業名】

企画展「収蔵庫は宝の山！～博物館の資料収集活動～」

【団体名】

栃木県立博物館

【期間】

令和3(2021)年4月24日(土)～同年6月27日(日)

【参加人数】

17,017人

【内容】

博物館は1982年の開館以来、約40年にわたって資料の収集を行ってきたが、資料の増加に伴う収蔵環境の悪化が問題となっていた。これを受け資料収集のあり方について様々な検討が行われた結果、今後の資料収集活動を十分に行っていくためのスペースの確保が必要であるとの結論に至り、2020年3月に新収蔵庫棟が完成し、本年4月に使用開始となった。これを記念して、この展示では当館自慢の逸品を一挙に公開すると共に、当館がどのような資料をどのようにして集め、どのように保管しているかを紹介した。

展示を通じてたくさんの県民のみなさまにご覧いただくことができ、また、さまざまな新聞やテレビでも取り上げられた。関連行事も含め、「栃木県の貴重な資料を将来にわたって守り、次世代に継承することの大切さ」を感じていただけたものと考えている。当館ではバリアフリー化や、常設展示(企画展と同時に観覧可能)の多言語化を実施している。

